

第5回 清和台地区学校のあり方を検討する懇話会 議事録

令和7年11月12日 午前10時～

【地域説明会に向けた資料や第4回懇話会の振り返りについて】

<問>説明させていただいた『地域説明会』資料についての感想や質問などがあれば、お聞かせいただき、また、第4回懇話会の感想などもお聞かせいただければと思います。

(1) 地域説明会について

・清和台小学校と清和台南小学校がひとつになるということは理解できる。けやき坂小学校については、今は考えなくていいが、単学級が出てきた場合には、けやき坂地区でも説明をしてほしい。

《教育委員会》

⇒けやき坂小学校の児童推計では、令和8年度以降は単学級が出てくる見込みである。学校のあり方基本方針にある「継続して学年が単学級となった場合」には該当しないが、けやき坂地区には、清和台地区でこのような話が進んでいることを伝えていく必要があると考えている。また、川西養護学校でも話をしていく必要があると考えている。どちらも11月中に予定している。

・統合となると、資料にもあったように通学時間の話が出てくる。

《教育委員会》

⇒市長部局とはスクールバスなどの必要性は議論している。

・けやき坂小学校がそのままの場合は、小中一貫校にならないということか。

《教育委員会》

⇒小中一貫校はいくつかのかたちがある。小学校と中学校に校長がそれぞれいる運営や、他自治体は5年制と4年制で運営しているところもある。同じ敷地に中学校と小学校があれば、連携しやすいというところ。

・少し未来のことも考えて進めていけたらと思う。どちらかの学校にということだけではなく、もっと先の話を聞けば、違った考え方も出てくるのではと思う。

《教育委員会》

⇒学校の機能、教育環境としてどれが良いのかという話をする必要があるため、B案、C案についても検討したい。

・これから懇話会でどのような意見を示していけば良いか。

《教育委員会》

⇒子どもたちにとって望ましい教育環境を決めていくため、意見を集めるにはどのような方法が良いかというアイデアをいただく。できる限り早くに決めたいと考えているので、場所が決まった後は、通学支援の一つであるバスについてなど、細かい部分を進めていく必要がある。その際に、こういった部分に注意した方が良いなどの意見をいただきたい。保護者などには、今後も丁寧に聞き取りをしていく必要があると考えている。

第3回地域説明会において、案を掲示する際が重要だと考えており、特に通学支援はしっかり説明できるようにしていきたい。

・就学前の子どもがいる保護者としては、統合の時期がいつなのかを知りたい。時期は出せないか。周りの保護者は、中学校が一緒になることは想像もしていないので、清和台小学校なのか清和台南小学校のどっちなのかと気になっていると思う。小学校だけの統合となると、いつ頃か。

・少し時間がかかるでも、小中一貫校という学校ができるよう考えてほしい。

《教育委員会》

⇒パターンによるが、校舎の改修や増築が必要な場合がでてくるので、そのような場合は決定してか

ら4年程度時間がかかる。増改築の必要がない場合は、決定してから1～2年程度と考えている。

- ・我々はここに来ているのでこれまでの流れや今後も理解している。他の方は1回目の地域説明会から半年以上の月日が経っているがどのように進めていくか。

《教育委員会》

⇒まずは、ひとつの環境で学びますということをお伝えして、いろいろな案への理解を広めていくことが必要と思っている。長い月日をかけてここまでしか決めていないのかという意見も出てくるかもしれないが、引き続き丁寧に進めていきたいと考えている。

(2) 加古川市義務教育学校両荘みらい学園について

- ・小学生と中学生がお互いを見ていい影響を受けており、素晴らしい環境だった。年齢が小さい頃からお兄さん、お姉さんと関わりがあるということが良いなと思った。
- ・みんなが集まれる土地があったことを羨ましく思う。新しく良いものを建てるとなれば、住民の考えも違ってくると思った。
- ・教育カリキュラムなども工夫されており、このような取組みをしていると他地域からも子どもが増えると思う。
- ・今の清和台に魅力を感じて転居してくるという人は少ないと思う。新しい学びのシステムがあるとわかれれば、人を呼び込むことにもつながるのではと思う。

《教育委員会》

⇒学校がなくなるというマイナスイメージの中で進めていくのではなく、清和台地区においてシンボリックなものを作ることができると良い。

地域クラブについても、中学校からにこだわらず、もっと早い段階から参加するなど、いろいろ工夫ができると思っている。